

事業概要シート

施策 0501 健康づくりの推進

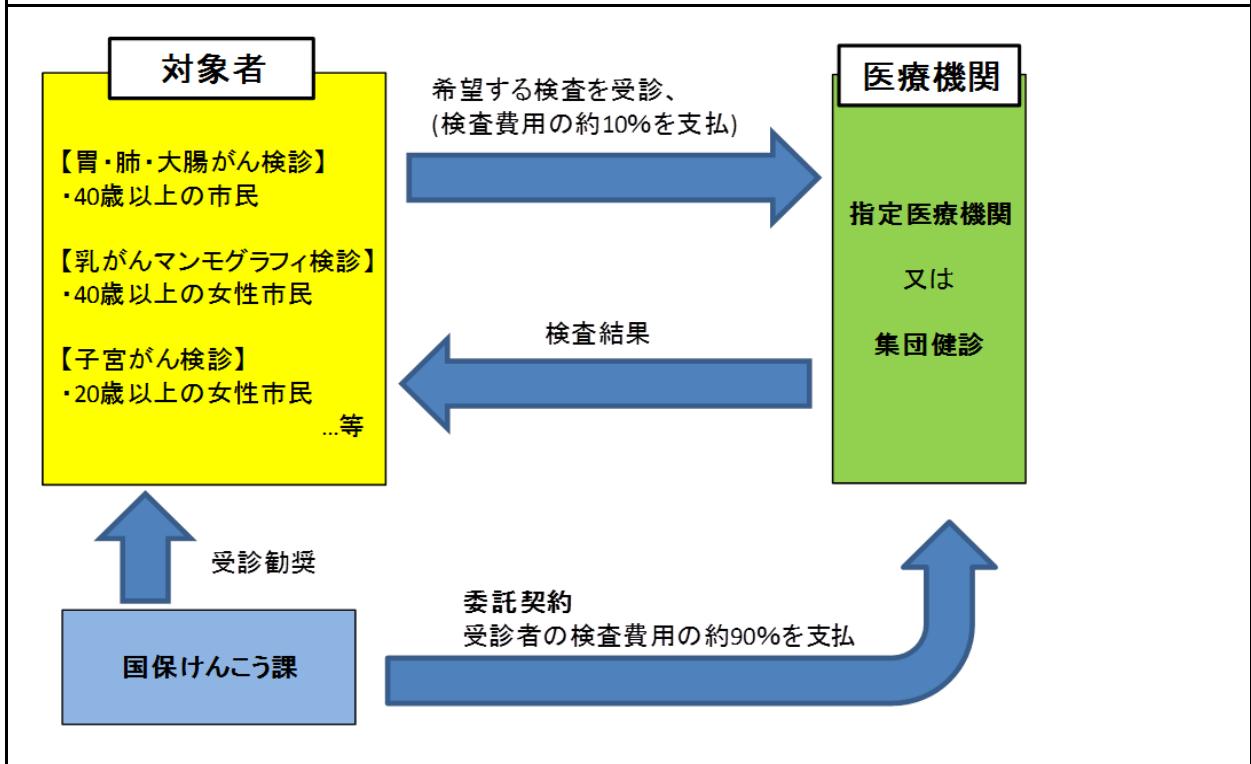
《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	健康診査事業	現状維持	予算額		169,766 千円
			《 》		169,766 千円
事業期間	～		財源内訳	国庫支出金	2,007 千円
根拠法令要綱等	健康増進法、がん対策基本法、高齢者の医療の確保に関する法律			県支出金	4,440 千円
				地方債	千円
				その他	11,038 千円
				一般財源	152,281 千円

【事業の目的・概要・対象】

20歳以上の市民を対象とし、定期的に健康診査を受診してもらうことで、疾病の早期発見と早期治療に努め、市民の健康に関する意識の向上を図る。

各種がん検診、後期高齢者の健診、40歳以上の生活保護者の健診などを、集団健診や医療機関における個別検診によって実施し、検査にかかる費用の助成を行う。



【背景】

日本人の死亡原因約30%を占め、2人に1人が罹るといわれているがんは、早期発見した場合と進行後に発見した場合には、生存率が大きく異なり、早期発見することでほとんどが治ると言われている。早期発見のため、定期的な健康診査の場を設けなければならない。

担当課	国保けんこう課	課長	橋本 学
担当者	江藤 由貴子	問合せ先	0957-53-4111 (内線152)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	がん検診受診勧奨	目標値	回	2	5	3	3	3
②		目標値						

【成果指標】

指標名			単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	がん検診受診者数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計)	目標値	人	19,213	21,784	49,844	49,844	49,844
②	がん検診受診率 (胃・肺・大腸・子宮・乳がん受診率 の平均値)	目標値	%	24.4	25.3	50.0	50.0	50.0

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	139,883	166,700	169,261	169,766	169,766	169,766	985,142
国庫支出金	361	718	2,025	2,007	2,007	2,007	9,125
県支出金	5,295	4,546	4,161	4,440	4,440	4,440	27,322
地方債							0
その他	10,563	10,489	11,006	11,038	11,038	11,038	65,172
一般財源	123,664	150,947	152,069	152,281	152,281	152,281	883,523
人件費	7,890	7,380	7,492	7,492	7,492	7,492	45,238
職員(人)	1.05人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	6.05人
時間外勤務(h)	127h	54h	110h	110h	110h	110h	621h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	147,773	174,080	176,753	177,258	177,258	177,258	1,030,380

妥当性 (市の関与)	疾病予防には、定期的な健康診査による病気の早期発見が必要であり、市民の健康を守るための重要な事業である。
有効性 (施策貢献度)	健康診査の普及によって疾病予防が推進され、市民の健康づくりに大きな効果が期待される。
効率性 (コスト)	検診手数料は、診療報酬の規定に基づき設定しており、受診者の自己負担額は手数料の約10%程度としている。

1次評価	担当者記載のとおり。
2次評価	1次評価のとおり。